

信用金庫本部・支店が連動し、県内支援機関と連携した新商品開発・販路開拓支援

事業者	支援機関
株式会社ヨコチュー	岐阜信用金庫・岐阜県商工会連合会

企業の概要

業歴64年の老舗米穀類卸売業。県内スーパーを中心とする卸売により売上は堅調であったものの取引価格の変動に利益率が左右されることから、真空パック米事業を展開。試行錯誤を経て販促用、贈答用に伸びを見せ、新たな柱に育ちつつある。平成27年度売上高約7億円、従業員15人。

支援の概要

◆支援の経緯

岐阜信用金庫（以下「岐阜信」）支店が行った「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を活用した真空パック米事業支援に岐阜信本部が加わり、本格化。地域プラットフォームとも連携してサポート。

◆経営課題へのアプローチ

- ①岐阜信本部・支店が連動して支援活動を実施。
支店から情報を得ながら、本部コンサルティング部署が課題を抽出、「強み」と「弱み」を分析して、新事業の方向性を整理。
- ②地域プラットフォーム「がんばる企業応援ネットワークぎふ」を活用した新商品開発・販路開拓。
プラットフォームを通じて、岐阜県商工会連合会（プラットフォーム代表機関）が主催する「食の販路開拓ブラッシュアップ商談会」に応募。岐阜信本部も参加して、半年かけて商品のブラッシュアップ、販路選択を検討。
新商品「料理に合うお米-横忠SELECT」（真空ブレンド米）で商談会に臨んだ。

◆支援成果

- ①自らの事業の「強み」、「弱み」を認識することにより、新事業の方向性、戦略の検討に主体的な取り組みができるようになった。
- ②商談会出展を契機に真空パック米事業の可能性を見出し、販促品として新商品「つなごまい」を開発。販路開拓、利益率改善に貢献（真空パック米売上高は支援前の3倍に）。

注目ポイント

◆本部・支店の協働によるリレーションシップ・バンキングの奏功。

日々、事業者に接する支店とコンサルティング業務に取り組む本部とが地域金融機関としての共通認識を持ち、互いの役割と意図をリンクさせ課題解決に向け支援。

◆支援機関相互の連携強化による支援。

県下72支援機関で組成され、構成機関相互の強みを活かして中小企業・小規模事業者に対する協働支援を行う地域プラットフォーム「がんばる企業応援ネットワークぎふ」を活用した支援策の提供。